

やっとかめ文化祭
2023 なごや文化の扉をひらく。DOORS



YATTOKAME FESTIVAL DOORS

NOH & KYOGEN THEATER

能「土蜘蛛」 狂言「仏師」

日時 | 11/3(金・祝) 14:00(開場13:30)

場所 | 名古屋能楽堂

料金 | 一般3,000円 / 学生1,500円(全指定席)

※一般チケットは、事業団友の会会員(前売りのみ)・障がい者手帳等をお持ちの方は1割引。(購入時に会員証、障がい者手帳等をご提示ください。障がい者の方はご本人と付き添い1人まで割引料金でお求めいただけます。)

※割引の併用はできません。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット取扱い 9月6日(水)発売

●名古屋市文化振興事業団チケットガイド Tel 052-249-9387 (平日9:00~17:00/郵送可)

※名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口(土日祝日営業)でもお求めいただけます。

(工事休館等がありますので、webサイトでご確認ください。)

◆ **teket** <https://teket.jp/1478/25695>

◆ **teket QR**



- 地下鉄鶴舞線「浅間町」駅下車
1番出口より東へ徒歩10分
- 地下鉄名城線「名古屋城」駅下車
7番出口より西へ徒歩12分
- 市バス「名古屋城正門前」下車すぐ
(栄13号系統、栄27号系統、西巡回系統)
- なごや観光ルートバスメーグル
「名古屋城」下車すぐ

<お客様へのお願い>

この公演は全ての席を使用します。施設の抗菌コートや換気を行います。マスク着用等の新型コロナウイルス感染症感染防止対策はお客様の判断に委ねられますので、ご了承ください。

主催 | やっとかめ文化祭実行委員会(構成団体:名古屋市(文化芸術推進課、観光推進課、歴史まちづくり推進室、文化財保護室)、(公財)名古屋市文化振興事業団、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー、(公財)名古屋まちづくり公社、中日新聞社、名古屋観光ブランド協会、特定非営利活動法人大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク) 後援 | 名古屋商工会議所、中部経済連合会、中部経済同友会 助成 | 文化庁、一般財団法人地域創造 協賛 | 愛知学院大学、岡谷鋼機株式会社、一般財団法人民族衣裳文化普及協会、シークエンス株式会社、株式会社大丸松坂屋百貨店、日本ガイシ株式会社、鹿島建設株式会社、名古屋空港ビルディング株式会社、公益社団法人日本観光振興協会中部支部、八百彦本店、三精テクノロジー株式会社、株式会社竹中工務店、丸茂電機株式会社、株式会社エアーアンドブイ、大冷工業株式会社 協力 | 名古屋三曲連盟、名古屋邦楽協会、名古屋日本舞踊協会、(公社)能楽協会 名古屋支部、名古屋鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、名古屋ガイドウェイバス株式会社、名古屋臨海高速鉄道株式会社、名古屋市交通局、会場を貸して下さる施設の皆さま ディレクター | 近藤マリコ、高橋佳介、西川千雅



やっとかめ文化祭DOORS 2023 まちなか芸披露

今回の能楽公演では、和紙でつくられた蜘蛛の糸を投げる場面が見どころの能「土蜘蛛」と、滑稽さが楽しめる狂言「仏師」を上演します。初めて能楽に触れる方にも分かりやすい演目です。

14:00 開演

狂言「仏師」

シテ/すっぱ | 松田 高 義
アド/田舎者 | 野村 又 三 郎
後見 | 野村 信 朗

田舎に住む男が、自宅に仏像を安置する御堂を建てたので、本尊を彫ってくれる仏師を求めて都にのぼりました。仏師がどこにいるのかわからず、往来で大声をあげて探している男の姿が、都のすっぱ(詐欺師)の目に留まります。すっぱは田舎者に声をかけると、自分こそが真の仏師、真仏師だと大嘘をつきます。これを信じた田舎者から、仏像についての細かな要望を聞いた上で、すっぱは支払いの交渉まで進めていきます。翌日、すっぱは約束通り等身大の吉祥天女像を仕上げるのですが、田舎者は仏像の出来上がりであれこれと注文をつけ始めます。はたして、偽仏師はどうやって仏像を作るのでしょうか。信心深い田舎の男と金儲けを企む詐欺師の真剣勝負にご注目ください。



撮影:杉浦賢次

能「土蜘蛛」

シテ | 久 田 勘 鷗
頼光 | 梅 若 紀 長
胡蝶 | 梅 若 紀 佳
トモ | 梅 若 志 長
ワキ | 飯 冨 雅 介
ワキツレ | 橋 本 幸
ワキツレ | 楯 元 正 樹
間 | 野 村 信 朗

時は平安時代の中頃。優れた武将として知られる源頼光は重い病に苦しんでいます。胡蝶という侍女が薬を届けて見舞った後、深夜に一人の僧が現れ「我が背子が来べき宵なりささがにの蜘蛛のふるまひかねて知るしも」という古歌を口にする、蜘蛛の糸を繰り出して襲ってきます。頼光が名刀「膝丸」で斬りつけると怪しい僧の姿は消えてしまいました。頼光は自分を守ったこの名刀を「蜘蛛切」と名付け、独り武者に命じて蜘蛛の糸で攻撃をしかける妖怪、土蜘蛛の精を退治させます。



撮影:工房 円

土蜘蛛とは大和朝廷に征服された各地の土着の人々を示す言葉。能「土蜘蛛」は、こうした歴史を背景にして敗者の哀しみから葛城山の土蜘蛛の精と称する妖怪が創造された上で、国家統一を目指す勝者の側の武勇談という物語に仕立てられています。鬼退治と呼ばれる筋書き、土蜘蛛の精と独り武者たちの攻防、そして土蜘蛛の精が放つ蜘蛛の糸による華麗な演出によって、能の中でも人気の高い演目となっています。

狂言及び能解説 | 三苔佳子(能楽研究者・愛知産業大学短期大学非常勤講師)

笛 | 竹 市 学 地謡 | 吉 井 基 晴
小鼓 | 船 戸 昭 弘 | 角 幸 二 郎
大鼓 | 河 村 裕 一 郎 | 松 山 幸 親
太鼓 | 加 藤 洋 輝 | 本 田 勲
| 吉 沢 旭
後見 | 梅 若 泰 志 | 伊 藤 裕 貴
| 久 田 三 津 子

イヤホンガイド

日本語 | 三苔佳子(能楽研究者・愛知産業大学短期大学非常勤講師) / 英語 | 奥田小夜子(能楽イヤホンガイド名古屋)

※演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語)

やっとかめ文化祭DOORS 特別協賛事業

名古屋能楽堂企画展 「能面五人展—感情の妙を求めて—」展

会期 | 10/7(土)~11/15(水) 9:00~17:00 場所 | 名古屋能楽堂 展示室 料金 | 無料

この秋、名古屋能楽堂では愛知県在住の能面師(大葉喜久哉・川上堯由・黒塚安孝・原田ちよ子・保田紹雲)による能面展を開催します。全国の公募展で受賞歴を持つ地元の能面師たちが、「感情の妙」を表そうと苦心した力作が一堂に並びます。ぜひ間近でご覧になってください。皆様のご来場をお待ちしております。

【主な展示物】能面「深井(ふかい)」、「小牛尉(こうしじょう)」など



原田ちよ子作「増女」

保田紹雲作「鼻瘤悪尉」

※出演者等は変更する場合があります。

※中止・延期をする場合がありますので、お出かけ前に必ずwebサイトやお電話にてご確認ください。

事業団webサイト「重要なお知らせ」またはTEL:チケットガイド052-249-9387(平日9:00~17:00)

